

## 第8章

### 赤十字ボランティアと青少年赤十字の活動



## 赤十字ボランティアの活動

### 赤十字ボランティアの体制

広島県支部は「地域赤十字奉仕団」、「特殊赤十字奉仕団」、「青年赤十字奉仕団」を擁している。これらの奉仕団に登録されている団員は、災害時において赤十字ボランティアとして活動する。

広島県支部における赤十字奉仕団(平成30年3月1日現在)

種別	奉仕団数	団員数
地域赤十字奉仕団	24団	11,698名
青年赤十字奉仕団	6団	115名
特殊赤十字奉仕団	5団	271名
計	35団	12,084名

### 地域赤十字奉仕団の活動状況

地域赤十字奉仕団は、各地域における赤十字事業を第一線で支えるボランティアとして、主に市町単位で組織されている。被災した団員も多くいたが、それぞれの地域でニーズに合わせ活動を実施した。



お洗濯広場での運営支援(呉市赤十字奉仕団:呉市川尻町 呉市立川尻中学校)

### 安芸津町女性赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月7日～9日	避難者への食事提供(80食)	東広島市社会福祉協議会安芸津支所	7名
7月13日～15日	ボランティアへの食事提供(350食)	安芸津社会福祉協議会	延べ39名
7月20日～22日	ボランティアへの食事提供(350食)	安芸津社会福祉協議会	延べ39名
7月24日、7月31日	避難者への食事提供(19食)	安芸津社会福祉協議会	各6名
8月6日	ボランティア、避難者への食事提供(60食)	安芸津社会福祉協議会	6名

## 熊野町女性赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月7日	前日からの交通避難民と災害避難者約1,000人への食事提供。町職員、ボーアスカウト、保育所職員などと実施。	熊野町民会館	15名
7月9日	避難者への食事提供(カレーライス150食)。ご飯(200食)。夕食の配膳。	熊野町民会館	20名
7月10日	炊き出し(炊き込みご飯400食)	熊野町民会館	20名
7月15日	炊き出し(炊き込みご飯200食)	熊野町民会館	20名
7月17日	避難者への食事提供(19食)	熊野町民会館	20名
7月27日	炊き出し(たこ飯、冬瓜汁140食)	川角集会所	12名
8月3日	炊き出し(とうもろこしご飯、春雨チキンスープなど、140食)	熊野町民会館	17名

## 東広島市赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月20日	被災家屋での土砂・災害ごみ撤去作業	東広島市豊栄町	4名
7月31日	被災家屋での土砂・災害ごみ撤去作業	東広島市安芸津町	8名

## 呉市赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月26～8月10日	お洗濯ひろばでの運営支援	川尻中学校	延べ28名
9月18日	救援物資配布(タオルセット1,000組)	呉市被災地域	不明

## 広島市女性赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月6日	避難者への食事提供(150食)	湯来福祉会館	15名
7月11日～16日	炊き出し、被災者宅への個別訪問、避難所運営補助等	口田ふれあいセンター	延べ36名
9月10日	救援物資配布(タオルセット200組)	畠賀地区	4名
9月10日	救援物資配布(タオルセット100組)	瀬野地区	3名
9月11日	救援物資配布(タオルセット300組)	口田地区	4名



タオルセットの配布(広島市女性赤十字奉仕団口田地区の団員)



義援金を募る東広島赤十字奉仕団の団員

## 第8章 赤十字ボランティアと青少年赤十字の活動

### 三原市赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月13日～	避難所運営補助	本郷生涯学習センター、三原市立沼田西小学校、 南方災害ボランティアセンター	延べ191名

### 江田島市赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月7日～	・災害時要配慮者を再度確認し、一軒ずつ回って水と非常食を配付。 ・避難所へ食事、ジュース、果物を配付。 ・避難者に衣服を提供。一人暮らしの高齢者に食事、飲料水を配付。 ・避難所での連絡係。水や食事の提供など。避難者への食事提供(19食)。	江田島 各地域	活動地域で まちまち

### 特殊赤十字奉仕団の活動状況

特殊赤十字奉仕団は、赤十字救急法等指導員、アマチュア無線・自動二輪車免許取得者など専門的な技術や資格を有する団員により構成されている。

特に、発災直後から「赤十字防災ボランティア」として救援物資搬送に従事し、被災地の状況をはじめ、交通規制などの道路事情、迂回路の情報など、後の災害救護活動に有効な情報をもたらした。また、広島ロジスティクス・センター(トイレ、シャワー室含む)の清掃などを自主的に行った。

※赤十字防災ボランティアとは、災害時に被災者に対する応急救護・復旧などの活動を行うほか、被災者のニーズの収集・把握などを行うため必要な研修を受講し、防災ボランティアとして登録している個人または団体ボランティアをいう。

### 広島県レスキューサポートバイク(RB)赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月8日、7月11日	情報収集(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	延べ2名
7月12日、7月14日～15日	ラップポン移送設置等(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	延べ5名
7月16日	AED配布(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	1名
7月18日、 7月21日～22日、7月28日	救援物資搬送(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	延べ5名

### 広島県安全赤十字奉仕団

活動日	活動内容(広島県支部災害対策本部支援)	活動場所	参加人数
7月7日、7月13日、7月18日、 7月21日～22日、7月28日	救援物資搬送	広島県支部	延べ8名
7月8日	情報収集	広島県支部	1名
7月12日、7月14日～15日	ラップポン移送設置など	広島県支部	延べ3名
7月16日	AED配布	広島県支部	延べ2名
7月21日、7月28日、8月18日	救護班宿泊施設(ロジスティクスセンター)清掃	広島県支部	延べ6名



救護班要員の宿泊施設となった広島ロジスティクス・センターを清掃する奉仕団員



地元のまちづくりセンターで活動する安全赤十字奉仕団員

#### はつかいちし災害救援ボランティアネットワーク赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月25日	土砂撤去作業	坂町中村地区	2名

#### 広島県アマチュア無線赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月5日	避難所開設・運営支援	福山市金丸町(府中分団)	1名
7月6日	避難所開設・運営支援	新市町金丸(福山分団)	1名
7月6日～7日	避難所開設・運営支援	横路小学校(呉分団)	延べ2名
7月8日	断水による給水活動支援	横路小学校(呉分団)	1名
7月9日	避難所運営支援、断水による給水活動支援	横路小学校(呉分団)	1名
7月10日	断水による給水活動支援	横路保育所(呉分団)	1名
7月13日～16日	災害ボランティアセンター運営補助	神辺町(福山分団)	延べ4名
7月13日	避難所開設・運営支援	府中市(府中分団)	1名
7月15日	被災家屋での土砂・災害ごみ撤去作業	府中市府中町(府中分団)	4名
7月15日～16日	災害ボランティア活動	福山市内(福山分団)	延べ2名
7月16日	AED配布(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	1名
7月17日、7月19日	避難所運営支援	安浦小学校(呉分団)	延べ2名
7月19日～24日	救援物資搬送(広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	延べ9名
7月25日	避難所運営支援	音戸小学校(呉分団)	1名
7月25日、 7月27日～28日、 7月30日～31日、 8月3日	救援物資搬送など (広島県支部災害対策本部支援)	広島県支部	延べ8名
8月3日	ボランティアセンター運営支援	三原市(福山分団)	1名
毎週土・日曜日	被災家屋での土砂・災害ごみ撤去作業、避難所などの運営支援	安芸津町(安芸津分団)	延べ12名



被災地への進入ルートを確認する赤十字防災ボランティア



不足する医薬品を救護所に届ける赤十字防災ボランティア

### 青年赤十字奉仕団の活動状況

青年赤十字奉仕団とは、概ね18～30歳の学生や社会人で構成されたボランティア組織である。

#### HIROSHIMA青年赤十字奉仕団・安田女子学生赤十字奉仕団

活動日	活動内容	活動場所	参加人数
7月11日～13日	災害対策本部運営支援など	広島県支部	延べ7名



支部に帰着した救護班に飲料水を用意する学生奉仕団員



日本セーフティーから届いたラップポン®を荷下ろしするHIROSHIMA青年赤十字奉仕団員

## 支部災害対策本部における赤十字ボランティアの活動状況

月 日	広島県安全 赤十字奉仕団	広島レスキュー サポートバイク 赤十字奉仕団	HIROSHIMA 青年赤十字 奉仕団	広島学生 赤十字奉仕団	広島県 アマチュア無線 赤十字奉仕団	合 計
7月7日	2名					2名
7月8日	1名	1名				2名
7月9日						0名
7月10日						0名
7月11日		1名	1名	2名		4名
7月12日	1名	2名	1名			4名
7月13日	1名		1名	2名		4名
7月14日	1名	1名				2名
7月15日	1名	2名				3名
7月16日	3名	1名			3名	7名
7月17日					1名	1名
7月18日	1名					1名
7月19日					1名	1名
7月20日					1名	1名
7月21日	3名	2名			2名	7名
7月22日	1名	1名			2名	4名
7月23日					2名	2名
7月24日					1名	1名
7月25日					2名	2名
7月26日						0名
7月27日					2名	2名
7月28日	3名	1名			2名	6名
7月29日						0名
7月30日					1名	1名
7月31日					1名	1名
8月1日						0名
8月2日						0名
8月3日					1名	1名
8月18日	2名					2名
合 計	20名	12名	3名	4名	22名	61名

## 青少年赤十字の活動

### 青少年赤十字加盟校の協力

青少年赤十字は、赤十字の基本理念である「人道」に基づき、「やさしさ」や「思いやり」を行動に移せる青少年の育成を、学校教育の中で実践することを目的としている。

「気づき」、「考え」、「実行する」の3つの態度目標を機軸に、青少年赤十字加盟校の児童・生徒は、救援物資の搬出など、災害対策本部支援や、被災地が粉塵などで困っていることを知り、マスク・ぞうきんなどの救援物資の供出、義援金を募り、「自分たちでできること」を実践した。



支部災害救護倉庫から救援物資を運び出す青少年赤十字加盟校(高校生)の生徒



学校で集めたタオル・マスク、義援金を拠出した青少年赤十字加盟校(広島市立国泰寺中学校)

## 青少年赤十字加盟校からの義援金



平成30年7月20日 広島市立舟入高等学校 様



平成30年7月25日 広島市立翠町中学校 様



平成30年7月26日 広島市立東原中学校 様



平成30年8月3日 広島県立廿日市西高等学校 様



平成30年11月15日 広島県立宮島工業高等学校 様



平成30年12月18日 広島市立井口中学校 様



平成30年12月26日 広島新庄中学校 様



平成31年1月25日 広島なぎさ高等学校 様

※これ以降も、多くの青少年赤十字加盟校の募金活動により、多額の義援金をいただいておりますことに感謝申し上げます。

### 平成30年7月豪雨災害での赤十字ボランティアの活動について

日本赤十字社広島県支部 事業課長 林 徹

今回の災害に際し、当県支部の赤十字ボランティアは、災害対策本部支援と、奉仕団として自主的に地域での活動を行った。支部災害対策本部支援としては、発災直後から自発的に参集し、情報収集や通行止め道路を記した地図作成などを実施し、本部要員が不足する中、大きな助けとなつた。発災直後の支部災害対策本部が混乱する中、防災ボランティアの的確で自発的な活動に、本部要員も冷静を取り戻すことが出来たのではないかと感じた。

その後、赤十字ボランティアは、救援物資の積み込み・搬送や、電話対応、救援車両の給油・洗車、救護員待機場所の清掃などを行つた。救護活動が長期化し、職員が疲弊する中、防災ボランティアのきめ細やかな支えに、支部災害対策本部は活動を継続することができたのではないかと思う。

また、奉仕団の自主的な活動としては、炊き出しなどの被災者への食事提供、避難所運営の補助などを行つた。今回の災害対応を経て、赤十字においてボランティアの役割の重要性をあらためて認識した。

頻発する自然災害に際し、被災者の困苦を軽減し、被災者に寄り添つた赤十字らしい活動を展開するため、救護員養成はもとより、赤十字ボランティアの養成も重要な課題と考える。

